

広島銀行の「MEJARサステナビリティソリューション連携」への参加について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、コンコルディア・フィナンシャルグループの横浜銀行（頭取 片岡 達也）と東日本銀行（頭取 大石 慶之）、およびほくほくフィナンシャルグループの北陸銀行（頭取 中澤 宏）と北海道銀行（頭取 兼間 祐二）との間で締結しているサステナビリティ分野の商品・サービスに関する連携協定「MEJARサステナビリティソリューション連携」（以下、「本連携協定」）を、広島銀行（頭取 清宗 一男、以下、「同行」）と締結しましたので、お知らせします。

環境・社会課題の解決に向けて、地域金融機関には地域企業のサステナビリティ経営向上を支援する役割が求められています。基幹系システム「MEJAR」※を共同運営する5行は、サステナビリティ分野の取組情報の共有、商品・サービスの高度化に向けた連携を通じて、各行のお客さまのサステナビリティ経営を支援し、地域経済の発展に貢献していくことを目的に、2022年9月26日に本連携協定を締結しました。

この度、広島銀行はその趣旨・目的に賛同し、2030年度からの「MEJAR」への参加に先駆けて、各行との本連携協定の締結に至りました。

七十七銀行は今後も、地域のお客さまのサステナビリティ経営の支援を通じて、地域経済の発展に貢献していきます。

※ NTTデータが構築・銀行が主体で運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。参加行は以下の通り（利用開始および銀行コード順）。
横浜銀行、北海道銀行、北陸銀行、七十七銀行、東日本銀行



【本連携協定のおもな内容】

おもなテーマ	連携内容
サステナブルファイナンス	「サステナビリティ・リンク・ローン」や「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」等のサステナブルファイナンスに関する事例・情報の共有、商品導入に向けた連携、評価機関の共同活用など
行内外への啓蒙活動	行員向けの研修・教育コンテンツの共有や、外部向けセミナーの共同開催、外部コンサルティングの共同発注など
脱炭素関連ソリューション	温室効果ガス排出量の可視化支援や削減に向けたソリューションに関する情報の共有、脱炭素にかかる専門業者に関する情報共有など



SDGs (Sustainable Development Goals)
 2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。
 七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 ～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。

以 上